



健康社会学研究会

ニューズレター No.90

発行：健康社会学研究会

事務局：〒164-8530 東京都中野区中野 4-21-2 帝京平成大学 現代ライフ学部 人間文化学科（担当 森川洋）

TEL 03-5860-4586 FAX 03-5860-4945 E-mail: h.morikawa@thu.ac.jp

ニューズレター NO.90 / 2019年8月 編集担当：下園美保子

第127回定例会のご案内

テーマ：ティール組織 —注目される先端の組織構造と実践例—

メンバーそれぞれが自立的にマネジメントをしつつ、組織の共通目的をも達成していく組織形態として、今、『ティール組織』が注目されている。

ティール組織とは何か？ 今回は、ティール組織の3つのポイントを整理しつつ総括する。具体的には、オランダの地域看護を展開するビュートゾルフ、日本のオズビジョンやソニックガーデンなどの先端組織の実例を織り交ぜながら、未来のありたい組織をどうデザインしていくか、参加者の皆さんの組織づくりのヒントにつなげていきたい。

話題提供者：福島 毅氏（Link and Create 代表）

日時：2019年9月7日（土）

15:00～17:00（受付 14:30～）

会場：国際医療福祉大学赤坂キャンパス 5階501教室

東京都港区赤坂 4-1-26

<https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/access/>

メトロ赤坂見附駅・永田町駅 A出口より徒歩3分

参加費：会員無料 非会員1,000円

※終了後に赤坂見附駅周辺で懇親会を開催します。



令和元年度総会報告

去る6月15日（土）、第126回定例会終了後に「令和元年度総会」を開催しました。議長に山田会員を選出し、議案書に基づき下記5議案について審議いただき、全ての議案について原案どおり承認されましたので、ご報告いたします。

進行：高澤委員

第1号議案 平成30年度事業報告（説明：臺副代表）

第2号議案 平成30年度決算報告（説明：森川委員）

第3号議案 規約改正（案）（説明：松岡代表）

第4号議案 令和元年度事業計画（案）（説明：臺副代表）

第5号議案 令和元年度予算（案）（説明：森川委員）

健康社会学研究会 代表 松岡正純

第 126 回定例会の報告

プログラム評価理論に基づいた、介護予防活動の成果評価と プロセス評価に対するロジックモデルの開発

日時：令和元年 6 月 15 日（土）15:00～17:00

会場：帝京平成大学中野キャンパス

講師：下園 美保子（愛知県立大学看護学部看護学科）

「ロジックモデル」とは、『プログラムの目指すもの（目的）とそれを達成するための戦略といったプログラムの論理を明らかにするものであり、「投入(input)→結果(output)→成果(outcome)」を可視化するツール』と定義されています、ロジックモデルを活用した評価枠組みの構築は、現在の事業実施に必要な「評価の見える化」と「成果の上がる事業実施」に即した評価戦略ともいえます。



本研究では介護予防事業を対象に、成果評価とプロセス評価のロジックモデルを市民対象のグループワークから構築したことが報告されました。これらにより、市民や関係機関と共に「支援の可視化」が促進され、活動内容と位置づけの共有化からエンパワメントされ、「有機的でタイムリーなケース対応の基盤づくり」として、関係機関や地域住民との『顔の見える関係づくり』や『信頼関係の構築』が促進されることが報告されました。

評価を否定的にとらえる方もありますが、本来は、成果とは何かを定義し、出来ている活動を認めながら活動を再検討するものです。本定例会を通じて、評価そのものに対する在り方やイメージを見直し、実施者がエンパワーされる活動へと変貌を遂げる必要性を感じました。（文責：下園美保子）

第 61 回健康社会学セミナーの報告

大学・専門学校での受動喫煙防止対策、どのように進めていますか？

日時：令和元年 7 月 6 日（土）14:00～17:00 会場：文化学園大学

シンポジウム

1. 基調講演

大学の禁煙化を目指した取り組みの一事例～学生と教員との協働的な活動を通して～
赤田信一（静岡大学教育学部）

2. 事例報告

大学敷地内全面禁煙という選択 鈴木洋州（明海大学 学生支援課）
受動喫煙防止に対する文化学園の取り組み 佐藤申（文化学園学園本部総務部）

3. 話題提供

受動喫煙防止のデザイン—環境心理・環境行動の視点から
渡邊秀俊（文化学園大学造形学部）

受動喫煙防止についての学生・大学院生からの提案
鈴木碧・小泉友理・小川裕耶（文化学園大学学生・大学院生）

4. 指定発言 杉田 秀二郎（文化学園大学現代文化学部）

展 示 「学生による受動喫煙防止対策案」（授業「健康教育概論」から）

2019年7月1日に改正健康増進法が施行され、大学や専門学校では全面禁煙か分煙かで対応が分かれているが、それぞれに問題を抱えている。本シンポジウムでは、いずれの対応にせよ受動喫煙防止を進めるための知見を得ることを目的とした。

静岡大学教育学部では、特に子どもに教える教員養成のための学部と保健体育という特性を生かし、学生を指導することが敷地内禁煙という健康教育を実践することにつながっていた。明海大学浦安キャンパスでは、敷地内全面禁煙をトップダウンで決断した。見回りは必要であるが、年々喫煙率が減少していく効果がみられている。文化学園（大学・専門学校）では受動喫煙ゼロキャンパス宣言を掲げて実際には分煙を進めているが、分煙は守られていない。9月から喫煙所を移転する機会を活かせるか否かが課題である。環境行動の視点からは、どのような喫煙所であればルールやマナーを守りやすいかという指摘がなされた。学生および大学院生からは、喫煙者からの意見、非喫煙者からの意見、そして学生の特性（文化学園であれば環境デザインやファッションコンテスト）を反映させた対策が有効ではないかという意見が示された。



大学や専門学校での受動喫煙防止については、教職員一体となって様々な立場からのアプローチが必要である。またそもそも喫煙者を増やさないことが受動喫煙防止にもつながるため、喫煙習慣を形成させないよう20歳前である入学時が時期としても適切である。さらに喫煙や喫煙所に誘わないために上級生への教育も重要である。

受動喫煙防止においては、以下の3点の認識が鍵となる。1. 受動喫煙防止は、「マナー」（個人の良識）



ではなく「ルール」（社会的な規則）になった。2. 喫煙は嗜好の問題および個人の健康問題であるが、受動喫煙は社会的な健康問題である。3. つまり受動喫煙防止は、喫煙者・非喫煙者の区別なくその集団に所属する全員に関わる社会的な問題である。

したがって、上記のような対策を通して個々のヘルシリテラシーを高め、集団や社会的な健康の実現につなげていくことが重要である。

（文責：シンポジウム企画者・杉田秀二郎）

事務局からの連絡

◆研究会情報のメール配信

現在、会員の皆様にはニューズレター等のメール配信も行っております。未配信の会員の皆様におかれましては、事務局までメールにてご連絡ください。以後配信いたします。また既にお知らせ済みの場合でも、未配信のことがございます。その際も再度事務局までメールにてご連絡ください。

なお紙媒体の郵送も引き続き行います。

◆令和元年度会費納入のお願い

毎年会費の納入についてご協力頂きありがとうございます。新年度会費の納入をお願いいたします。

会費納入先

郵便振替：00100-8-41025

銀行口座：みずほ銀行広尾支店 普通 1842122 健康社会学研究会 代表 松岡正純

ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）当座 〇一九店（ゼロイチキュー店：店番019）

0041025 ケンコウシャカイガクケンキュウカイ

◆ホームページが新しくなりました！

随時情報を更新しています。こちらからもセミナー、定例会等の開催をご確認ください。

健康社会学研究会 <http://healprokenkyukai.sakura.ne.jp/wp/>

The screenshot shows the homepage of the Japanese Society of Health Sociology. The header includes the organization's name in English and Japanese. Below the header are three navigation icons: a calendar for 'Seminar & Monthly Meeting', a person icon for 'Research Overview', and an envelope for 'Contact'. The main content area is divided into two columns. The left column features a large announcement for the 128th regular meeting on October 26, 2019, with details on the theme, speakers, and location. The right column lists various activities, including seminars and meetings, with dates and brief descriptions. At the bottom, there are social media links for Facebook, Twitter, and Pocket, along with a map of the office location.